

第2回 今後の鉄道物流のあり方に関する検討会

貨物鉄道の更なる活用にあたりご理解いただきたい項目

1. 線路設備の維持更新について
2. 安全・安定輸送の確保について
3. 線路使用料について

東海道本線(下り) 深夜時間帯ダイヤイメージ

(東京方面)

※破線は上り列車

熱海

保守時間帯

約100~150分

貨物列車

名古屋

保守時間帯

約100~130分

米原

23

0

1

2

3

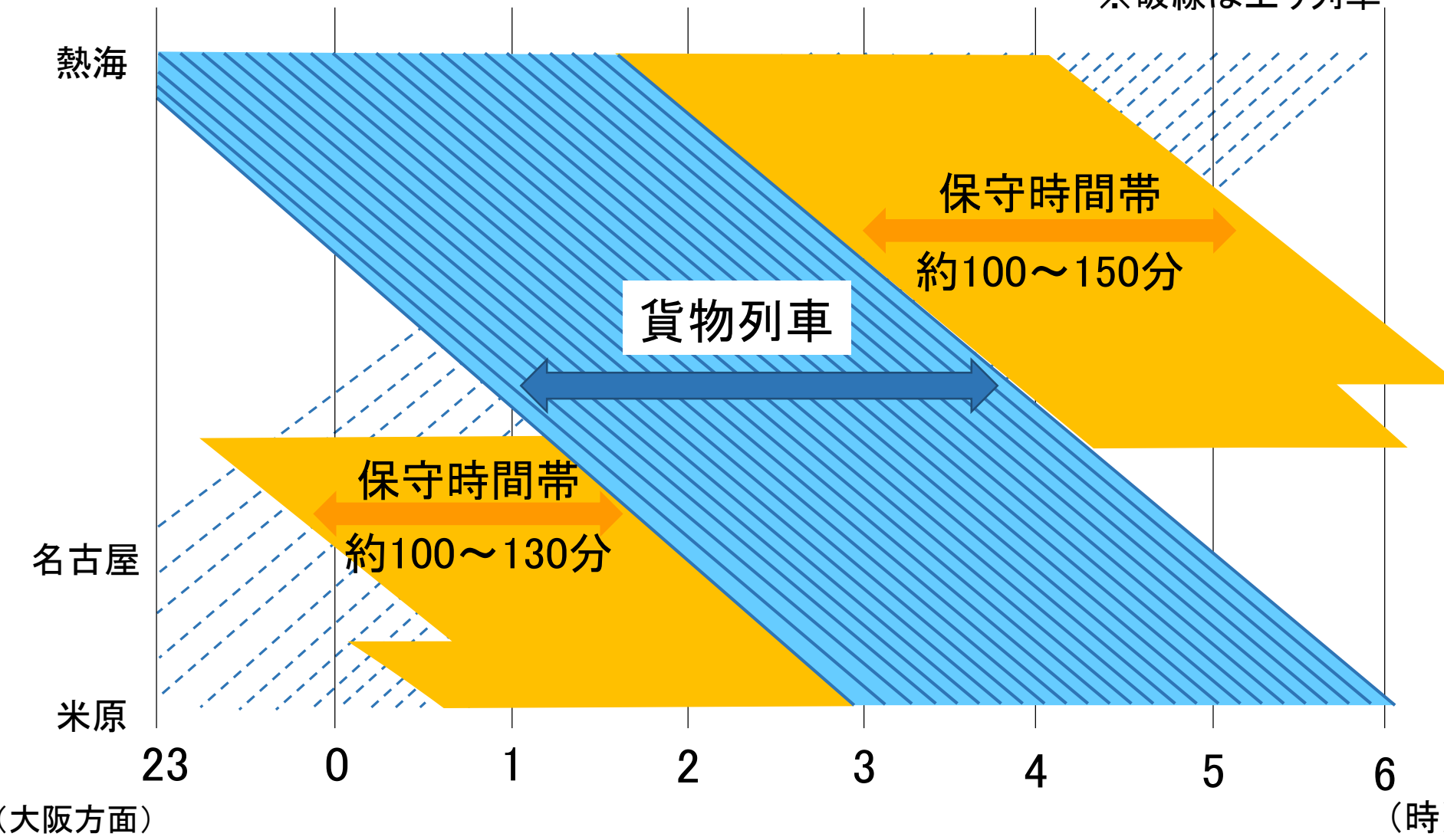
4

5

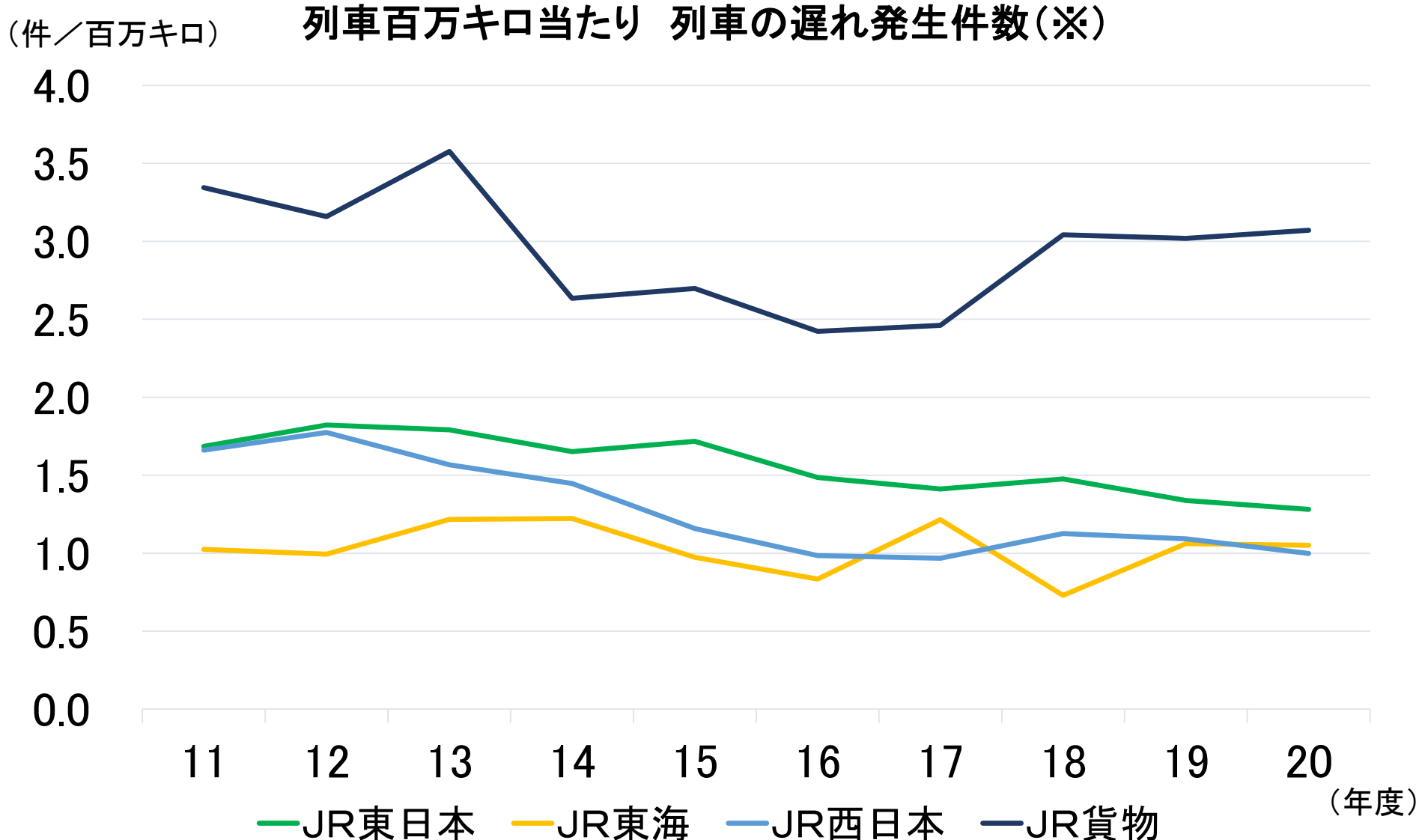
6

(大阪方面)

(時)



係員、車両等に起因する列車の遅れ



※国土交通省鉄道局ホームページ「鉄軌道輸送の安全に関わる情報」より、「部内要因」の「輸送障害」を集計

輸送障害…鉄道運転事故に該当しないものの中で、「列車の運転を休止したもの」または「旅客列車が30分以上遅延(貨物等は1h以上)したもの」

部内要因…鉄道係員、車両、鉄道施設に起因するもの

○JR貨物がJR旅客会社に支払う線路使用料は、
追加的に発生する経費相当額※とされている

※貨物輸送がなければその発生が回避されると認められる経費(回避可能経費)

線路設備の維持・更新にかかる経費

修繕費	人件費	業務費	資本費等
-----	-----	-----	------

注:軌道使用料のイメージ



線路使用料として旅客会社が収受しているのは修繕費の一部のみ